

## 第1回 岩倉市子ども・子育て会議議事概要

日 時：平成28年1月29日（金）10:00～11:55

場 所：岩倉市役所 第1委員会室

出席者：委員11名、事務局6名

### 1. あいさつ

事務局	○本日、子ども・子育て会議は、今年度初めての会議となりますが、本年、4月から子ども・子育て支援新制度が始まり、その法律の中では子ども・子育て支援事業計画は、子ども・子育て会議に諮って策定・変更するということになっています。本日の会議では、放課後子ども総合プランや学童保育のニーズ量の見込みや確保方策などの部分について皆様のご意見をいただき、計画に反映させていただきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。
会 長	○最近は子どもに関する制度が頻繁に変わると感じますが、新しい制度の下での岩倉市の子ども・子育てをどのようにしていくべきかを皆様と一緒に考えていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

### 2. 議題

#### (1) 新規開設の特定地域型保育事業所の利用定員について

事務局	※資料1「新規開設の特定地域型保育事業所の利用定員について」の説明。
委 員	○0歳児にこだわっているのには何か理由があるのでしょうか。
事務局	○市内の保育園については、平成27年に認定こども園が2園開設されていますが、その保育部は1～2歳児対象であったため、0歳児の定員拡大がなされませんでした。このことから、0歳児に特化させていただきました。また、ニーズ調査においても0歳児が不足しているという結果となっています。
会 長	○「新規開設の特定地域型保育事業所の利用定員について」は、お認めいただいたということでよろしいでしょうか。（異議なし）

#### (2) 岩倉市子ども・子育て支援事業計画の変更について

事務局	※資料2「岩倉市放課後子ども・総合プラン基本方針（案）」、資料3「岩倉市子ども・子育て支援事業計画抜粋」の説明。
委 員	○学校区内の児童館と学校区外の保育園にそれぞれお子さんを通わせている保護者の方が3名いらっしゃいますが、何らかの対応はされているのでしょうか。
事務局	○現時点で3歳未満児を自宅近くの保育園に入れることは難しいのですが、そのお子さんが4、5歳になった時点で転園することはお勧めしています。また、児童館については、現在、5小学校区に7つの児童館がありますが、学童は学校から集団で児童館に移動しているため、基本的には小学区内の児童館に登録することになります。
委 員	○（資料2：2ページ、7ページ）学童保育は午後7時まで、学校休業日は午前7

	<p>時 30 分からと、そこに配置される先生は大変だと思いますが、人材確保のために賃金を上げると、利用者側に負担として跳ね返ってくるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>○時間については、平日は下校時から 7 時まで、指導員を配置しますが、夏休みはトータル 11 時間を前詰め 5、6 時間、後詰め 5、6 時間というシフトになっています。</p> <p>○学童保育の指導員は保育士限定ではなく、幼稚園教諭・学校教諭でも従事でき、又は資格がなくても従事できることから、保育園の保育士を集めるよりは容易かと思えます。</p>
委員	<p>○児童館のプログラムには、一旦帰宅した後参加する場合開始時間に間に合わないものもあります。</p> <p>○第四、第五児童館の学童が小学校に移った後の児童館運営はどのようになるのでしょうか。</p>
事務局	<p>○開始時間を学童に合わせているのは否めないと思います。今後、学童が学校に移動することから、児童館は一般来館児を対象としたカリキュラムを組んでいくこととなります。また、児童館は 0 歳児から 18 歳未満まで利用できる施設であることから、午前中は幼児を持つ保護者のサークル活動の場として、午後は小学生や中学、高校生も対象とする幅広い児童の居場所としていきたいと考えておりますので、ご意見等をお寄せいただきたいと思います。</p>
委員	<p>○夏休みに第四児童館で中高生を対象にやっていたと思いますが、あまり周知されていなかったように思います。</p>
事務局	<p>○夏休みは、試行的に第四児童館の学童クラブを小学校に移動したため、中高生も使えることを広報に載せました。結果、夏季休暇期間中に中学生は延べ 101 名、小学生は延べ 370 名が利用しました。</p> <p>○学童が多く集う児童館というイメージとは裏腹に閑散としていたことから、一旦来たもののそのまま帰ってしまった児童もいたということです。反省も含め、来年度の取り組みに活かしたいと思います。</p> <p>○東小学校に移る第五児童館については、岩倉団地内に所在するという特殊性があるため、4 月からは地域交流センター（ポプラの家）と併設という形になります。第五児童館は今後、小学生、中高生はもとより高齢者にも使っていただける施設を目指します。</p>
委員	<p>○放課後児童クラブについて、今までは学校から児童館へ移動していましたが、これからは学校内での移動となりますので、授業を受けている児童と学童との線引きはどのようになるのでしょうか。</p> <p>○今までの児童館での学童は、一般来館児との交流などができていましたが、今後はそういった部分はどのようになるのでしょうか。</p>
委員	<p>○児童館で行っていた従前の学童保育は地域と一体となってやってきました。また、学校の施設外だったことから授業中の児童とは離隔された形になっていましたが、今後、学童が学校に移動することによる授業中の児童との棲み分け、放課</p>

	<p>後子ども教室で使用する教室等、施設との兼ね合いなどの問題が惹起してくると思います。</p> <p>○（資料2：3ページねらい2）「地域の核である小学校に活動の拠点を移す」とありますが、この表現だと学校の先生が中心となってやっていくように捉えられてしまいますので、「小学校の施設に」といったような文言にしていただければと思います。また、学校施設内で発生した事故等に於ける責任の所在を明確にしておくべきと考えますが、その辺りはどうなっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>○学童の場所については、例えば、南小学校では少し離れている南館を利用しますが、児童は放課後、一旦、教室を出てから外を通過して南館に移動するという形になります。</p> <p>○従前の児童館に於ける一般来館児との交流については、今後、一体型となることによる学童と子ども教室との交流イベント等を開催するなど、共通プログラムを考えることで対応したいと思っています。また、平日の子ども教室は計画では「試行」となっていますが、ハードルが高いとの認識もあり、人材、スペースの確保等、一つひとつクリアしながら無理せず進めていきたいと思っています。</p> <p>○授業中の児童と学童の棲み分けについては、（他市の例示として）校庭に学童専用の施設を造り、早い時間帯は施設の中で過ごし、授業が終了した時間帯では外で活動するといった方法を採用しているところがありますが、そういったことはできるかと思っています。</p> <p>○安全管理については、プログラム内容や指導員との調整で確保できると思います。</p> <p>○責任の所在については、基本的には学童と授業中の児童とは隔離する処置を取りますので、問題は発生しないとは思いますが、（他市の例示として）学校側と協定書を交わしているところもありますので、検討したいと思っています。また、学校側の意向も踏まえた上で進めていきたいと考えております。</p>
委員	<p>○児童館では地域との交流がありましたが、学校に学童が移動することでどうなるのでしょうか。</p>
事務局	<p>○学校で行う放課後児童クラブは当分の間、児童館が拠点となり、児童館職員が学童の時間帯に学校に赴く形になります。地域と学童の交流といった部分では一考を要しますが、学童と児童館が切り離されるということではなく、運営上は一体の形を保ったままということになります。</p> <p>○児童館は、今まで学童に占有されがちでしたが、今後は、学童以外で一旦、帰宅した児童が集える場所として、地域に於ける児童館としての位置付けを保持していくものと考えます。</p>
委員	<p>○児童館での学童保育、学校に於ける学童保育とそれぞれに一長一短あると思います。今まで、児童館では家庭的雰囲気の中、のびのびしていた感がありますが、学校での学童保育は、子どもたちを閉ざされた空間に閉じ込めるようなイメージがあります。</p>

事務局	<p>○学童をお持ちの保護者の方が心配される気持ちはよく分かります。私共は、他の市町の学童保育について見聞し、研究した上で子どもたちに最良の形で提供できるべく、進めております。</p> <p>○子どもたちを閉じ込めるイメージがあることについては、学校内での学童保育が授業の妨げになることを避けるため、物理的な隔離するようなイメージで捉えられるのだと思いますが、高学年の授業が終わった後は校庭でのびのびと過ごすことができます。子どもたちに閉塞感が生じないように学校の先生方の意見もいただきながら工夫していきたいと思っています。また、保護者説明会ではその辺りの事も含め、説明させていただこうと思っています。</p> <p>○今後は、これまで以上に学校側との連絡を密にしていこうと思っています。</p>
委員	○ただいまの説明で安心しました。
会長	○名古屋では、以前の学童が全てトワイライトに移行し、現在、学童がなくなっているのですが、再度、学童に戻りたいといった声が多数出てきて、委員会でも問題になったことがありました。
委員	○名古屋は民間の学童が多いのでそういった問題は出てくると思います。
会長	○トワイライトよりも学童のほうが内容的によかったということで、戻りたいという声になっているようです。
委員	○岩倉での一体型の学童保育では、学童にいる子どもたちがどのように子ども教室を利用していくかを考える必要があると思います。学童に籍を置いたまま、子ども教室を利用できるようにしないと、名古屋のようになってしまうのではないのでしょうか。
事務局	<p>○岩倉の学童保育は昭和 46 年からと長い歴史があり、かつ、質も高いと自負しております。また、学童が学校に移行しても質を低下させないようにしますので、ご安心ください。</p> <p>○名古屋のトワイライトは学校により随分差があるといった話を聞いたことがあります。岩倉では子どもたちに何が一番良いかということを決りきり考えた上で進めていきたいと思っています。</p>
会長職務代理	<p>○（資料 2：3 ページ～ねらい 1、ねらい 2）資料の中に「子どもたちにとって豊かな居場所を確保することにつながります」や「地域住民の参画や地域の特色を生かして」とありますが、この部分をどのようにするかといった意見が重要であり、自身の活動においても、どのように関わっていけるかと考えています。この部分について深く考えることが重要だと思います。</p> <p>○（資料 2：10 ページ～挿入図）プランをつくって終わりではなく、委員会をつくることにもなっていますので、こういった場でそれぞれの立場から意見を出し合って考えていくべきだと思います。</p>
会長	○「岩倉市放課後子ども総合プラン基本方針（案）」について、先ほどの差し替えも含めてお認めいただいたということによろしいでしょうか。（異議なし）

### 3. その他

#### (1) 岩倉市保育園送迎ステーション事業について

事務局	※資料4「平成28年度 岩倉市保育園送迎ステーション」について説明。
委員	○(資料4:3ページ下から4行目)「暴風警報」とありますが、暴風雨ではないですか。
事務局	○雨天時は中止にならないので「暴風警報」です。
委員	○保育園には手書きで「かわら版」というものがあつたのですが、これはどうなりますか。
事務局	○送迎ステーションにはファックスがありますので、送信することを考えております。
事務局	※「平成28年度認定区分別入園状況」について説明。
会長	○1歳児、2歳児の待機児童は解消できそうですか。
事務局	○現状は4、5人ですが、0にできると考えております。

以上